

IH調理器で調理方法や味、出来上がりは変わる?変わらない?

テレビなどで“オール電化”“IHクッキング”という言葉を目にする機会が多くなり、実際に導入されたご家庭も増えていますが、この度、樟蔭でも中学・高校の調理実習室がオール電化にリニューアルされました。では、IH調理器を導入することによって、私たちの食卓がどう変わるのでしょうか。

電灯や家電製品などは電気、調理器具や湯沸かしなどはガス、暖房は石油というように、従来はエネルギーを使い分けていましたが、それらすべてを電気でまかなうのが“オール電化”です。なかでも、IH（インダクション・ヒーティング）調理器は、高層住宅へ導入されるケースが増えて、普及率が上がっています。

最大のメリットは、安全性が向上したことです。鍋底そのものを発熱させるので、炎が出ず引火の心配がありませんし、立ち消えによるガス漏れもありません。高齢者やお子さんたちでも安心して使うことができます。また、トッププレート（加熱面）は五徳などがなくフラットなので、吹きこぼれなどの汚れもさっと拭くだけ。お手入れがとても楽になります。点火や消火、火力調整はパネル操作で行え、細かい調節も自在です。生煮えや火の通しすぎといった失敗も減らすことができるでしょう。揚げ物などの油温管理にも優れており、10°きざみで温度を設定できるうえ、油温センサーにより温度を一定に保ってくれるので、調節などの操作にかかる負担も軽減できます。



ところで、IH調理器は火力が弱いのでは、とお思いの方もいると思います。でも、実際に使ってみると、火力が強いのですぐに高温になり、ガスとほとんど変わらないと感じます。IH加熱のしくみは、IH（電磁誘導加熱）で、鍋自体を発熱させますので、鍋やフライパンなどの温まりも早いです。ただし、一般的な中華鍋のように底の丸い鍋や平底でも溝のある鍋・フライパン、アルミ鍋、耐熱ガラスなどは、IH調理器には使用できません。調理方法も、今後、変わってくるかもしれませんね。

でも、調理そのものが全く変わってしまうわけではありません。これまでみなさんが日々蓄積されてきたノウハウやコツは、そのまま応用すれば対応できます。例えば、炒め物などはフライパンを置いたままフライ返しや菜箸など

で素早くかき混ぜるか、フライパンの底をプレートにつけたまま前後に軽くずらすなど、IH調理器に適した調理方法に変えていく。それが、IH調理器を使いこなすポイントといえるのではないのでしょうか。



尾崎幸子 高等学校教諭

家庭科を担当する尾崎先生は、樟蔭高校・大阪樟蔭女子大学食物学科（現：食物栄養学科）の卒業生。学生時代は剣道部の主将。現在は、フォークソング部の顧問も勤める。中学・高校の調理実習室は、最新のオール電化調理実習室へとリニューアルされましたが、実習室で使われている校章マーク入りの食器は、尾崎先生が高校生のときから大切に使われているもの。新しいものをとり入れながらも、古き良きものも大切に扱う樟蔭の良さが、ここにも見られます。



NEWS

イベント報告

樟蔭ホームカミングデー2006開催!

10歳ごとの区切りの年齢を迎えられた樟蔭の卒業生を学園へとお招きし、懐かしい学舎で恩師や友人との旧交を温めていただくイベント「ホームカミングデー」が平成18年10月7日（土）に開催されました。前日からの雨の影響もあり、風の強い日でしたが、160人あまりの卒業生とそのご家族の皆さんに参加していただくことができました。キャンパス内では、懐かしい友人の姿を見つけてはお互いの名前を確認しあう光景や、一緒に参加されたお子様を友人や恩師に紹介するほほえましい光景を見ることもできました。今回は、午前中にオープニング企画としてクラブによる演奏や演技がありましたが、在学生による美しい演奏や元気溢れる演技に、参加者からは笑顔が漏れ、在学生への暖かい拍手が送られていました。午後からの懇親会では、理事長をはじめとした教職員や、退職された先生方にもご参加いただき、卒業生の皆様との懐かしく楽しい時間を共有することができました。また、体験イベントとして、故古澤クラ先生のレシビを基に再現したデザート「樟蔭サンデー」を作って試食したり、パソコンを使って顔の印象分析を行う企画や、唾液からストレスを計測するなど多くのイベントを実施し、ご家族や友人と一緒に楽しんでいただきました。



その他にも、学園の歴史資料展示や国文学科の宮崎先生・森島先生による書道作品展、学科による学生作品展示、クラブによる作品展示、お茶会など、様々な企画を皆様楽しんでいただくことができ、ご参加いただいた皆様だけでなく、開催にご協力いただいた学内関係者にも心より感謝申し上げます。今回で2回目を迎えたホームカミングデーですが、卒業生と学園とを結ぶ大切なイベントとして今後も継続して開催していきたいと考えておりますので、次回以降に対象となる卒業生の方もぜひご参加いただけますことを学園教職員一同で願っております。

結婚式

卒業生が記念館で挙式!

樟蔭の卒業生である●●●●さん(中41・高43・短5)と●●●●●●●●さんととの結婚式が平成18年10月28日（土）に樟蔭学園記念館で行われました。結婚式は●●●さんの同窓生や友人が中心となって企画運営され、記念館の雰囲気とも調和し、理事長も出席してお祝いを述べられるなど、とてもアットホームで素敵な結婚式でした。現在お二人はシンガポールに在住されております。お二人が未永くお幸せに過ごされますことをお祈り申し上げます。



クラブ活動

中 学

■バトントワリング部

第18回バトントワリング大阪府大会(9/16)

バトントワリング部 金賞

ボンボン・ヘップアーツ部門 金賞

第28回バトントワリング関西大会(11/3)

バトン部門 金賞

ボンボン・ヘップアーツ部門 金賞

(12/16~17、1/13~14全国大会出場)

■新体操部

大阪中学校秋季総合体育大会(10/8)

団体 第2位

個人 第6位

■バレーボール部

東大阪市中学校総合体育大会(10/15)

第3位

■美術部

第55回大阪私学美術展(7/25~30)

優秀賞 ●●●● (3年)

奨励賞 ●●●● (3年)

●●●● (3年)

奨励賞 ●●●● (2年)

●●●● (2年)

■吹奏楽部

第45回大阪府吹奏楽コンクール中地区大会(7/27)

銀賞

第19回大阪府マーチングコンテスト(9/10)

優秀賞

高 校

■ソフトテニス部

大阪私学総合体育大会(8/23~24)

団体 第3位

大阪高校新人大会(10/8)

第9位 ●●●● (2秋)

●●●● (2夏)

(⇒H19.1/6~8近畿高校総合選抜インドア大会に出場)

■体操部

新人大会(11/5)

団体 第5位

個人 総合2位 ●●●● (1夏)

※種目別 (床1位、平均台2位、跳馬2位、平行棒2位)

■バトントワリング部

全国高等学校マーチングバンド・ボンボン・バトントワリング選抜大会(9/16)

バトントワリング部 第2位 産経新聞社賞受賞

第28回バトントワリング関西大会(11/3)

バトン編成 金賞(2位)

ボンボン編成 金賞(1位)

(⇒12/16~17全国大会に出場)

■スキー部

全日本選抜ローラースキー かがみの大会(8/26~27)

第4位 ●●●● (3夏)

第6位 ●●●● (1冬)

■軽音楽部

近畿地区高校・中学校軽音楽系クラブコンテスト

「We are Sneaker Ages 2006」

予選 優秀校賞

グランプリ大会(11/12) 大阪府教育委員会賞

■フォークソング部

ミックスバンドコンテスト2006(8/26)

グランプリ ●●●● (3冬)

■科学部

青少年のための科学の祭典 大阪大会

サイエンスフェスタ2006(8/26~27)

団体 優秀賞

受賞

『第8回吉野山灯りコンテスト展』で優秀賞を受賞！

学芸学部インテリアデザイン学科3回生
●●●● さん

吉野の自然素材（杉・檜・割箸・和紙）の味を生かした照明器具のコンテスト『吉野山灯りコンテスト展』にて、●●●●さんの作品【グラデーション】が「優秀作品賞」を受賞しました。



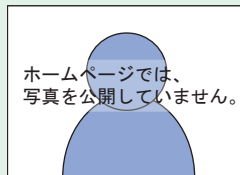
受賞

第7回大阪国際音楽コンクールにて多数の受賞！

国内外から多くの参加者が集まる大阪国際音楽コンクールのアマチュア部門シニアコースにおいて、人間科学部児童学科3年生の野津有希さんがファイナルの2位に入賞したのははじめ、児童学科の学生から多数の受賞者が生まれました。

ファイナル	第2位	●●●● (3年)
	文化奨励賞	●●●● (2年)
セミファイナル	金賞	●●●● (2年) ●●●● (2年)
		●●●● (3年) ●●●● (3年)
		●●●● (3年)

その他、審査員推薦賞や銀賞などの受賞者も多数。



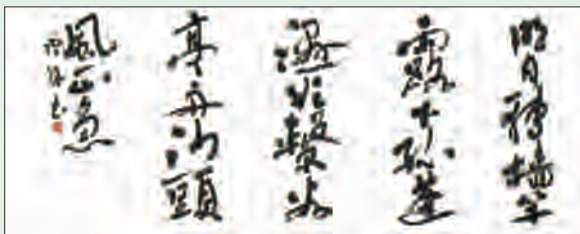
ファイナル第2位 ●●●●さん

受賞

国内最大の書の祭典「第23回読売書法展」で『読売新聞社賞』を受賞！

学芸学部国文学科書道コース研究室員 長岡悦子さん（雅号：北川澄風）

国内最大規模を誇る第23回読売書法展の出品数は、公募・会友、役員合わせて3万点を超えるもので、その中で「読売新聞社賞」とは大賞・準大賞に次いで高く評価された作品に与えられる賞です。長岡さんは、中学・高校・大学と樟蔭出身で、14歳の頃から宮崎彰夫（葵光）先生について、書の勉強を続けて今に至っています。

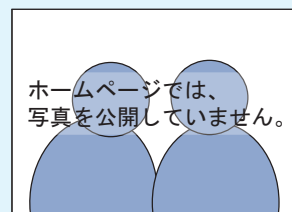


「楊士奇の詩」

若葉祭

「青春の躍動」優勝チームにインタビュー

3年生の各クラスが、それぞれにテーマを決め、自ら考えた150秒間の創作ダンスを発表し、競いあうという、樟蔭高校伝統の行事「青春の躍動」。今回の優勝チームのリーダーにインタビューしてみました。



平成18年度「青春の躍動」
優勝チーム：3年生組
リーダー：●●●●・●●●●
テーマ：「STARなMASK」



Q.このテーマはどうして決めたの？

本当は、初めのテーマは「海賊」だったんです。でも先生から「空組とかぶってるぞ」と言われて、どちらが取るか、くじ引きで決めたくて……で、うちが外れました（泣）。もう夏休み直前なのに、全部やり直さなきゃいけなくなって、「どうしよう!!」って焦りました。とにかく、みんなでもう一度考え直して、映画の「MASK」をテーマに決めたくんです。

Q.やっとテーマが決まったと思ったら、す

ぐに夏休み。まとめていくのは、大変だったのでは？

みんな受験があるし、勉強しなきゃいけないから、効率よく進めようって一致団結して頑張りました。まずは全員で映画を見てイメージを共有しました。今までにないものにしたい!という思いがあったから、過去3年分の全作品のビデオを見て研究しました。でもみんな、時間がないので緊張感を持って練習できたから、覚えも早くとても良かったです。

Q.練習中に工夫したことは？

練習をビデオで撮影して、自分の動きをチェックできるようにしました。そしたら、自分の動きだけでなく、普段は見えない他の人達の踊りを見ることもできたので、すごく面白くて、何度も何度もビデオを見ちゃいました。他には、半分に分かれて踊りのチェックをしあってお互いの悪いところを教えあったりもしました。みんな、とても大人な対応をしてくれて、それぞれがすごく楽しんでできるようにって、どんどんクラスが団結していきました。

Q.本番はどうだった？

すごく緊張していたのに、先生が始めのセリフをアドリブで笑わせてくれたから、一気にリラックスできました。だから、すごく楽しんで踊れました。先生はいつも私達をバックアップして、ちゃんと褒めてくれるんです。先生を喜ばせたいから、頑張ったっていうのもあります。優勝できたのは、先生のバックアップやみんなそれぞれが積極的に団結して頑張れたおかげだと思います。リーダーをやって、本当によかったと思いました。

海外研修報告

2006年3月からアメリカのフレスノ・パシフィック大学へ留学している、英米文学科3年の●●●●さんから長期留学の体験レポートが届きました。長期留学中の彼女の頑張りをご紹介いたします。（今号が発行される頃には帰国されている予定です）

アメリカへの長期留学に参加して



英米文学科3年
●●●●さん



中学校へ入学した時から英語の勉強を始め、さまざまな国の文化の違いを学びました。英語を勉強するたびにいつか海外へ行き、英語を流暢に話せるようになりたい、また文化の違いを自分で経験したいと夢みるようになりました。しかし高等学校を卒業し、留学しても基礎知識がないと思い、大阪樟蔭女子大学へ入学し、英米文学科を専攻することに決めました。大学では中学校や高等学校の頃とは違

い英語を習得するために毎日勉強に励みました。しかし英語を勉強することによって自分の夢をかなえたいという思いが強くなり、フレスノ大学長期留学に参加することに決めました。フレスノに来た時は、友だちがいなく文化の違いの大きさにホームシックになるようなこともありましたが、しかし日が経つにつれ友だちができ、日々楽しく過ごせるようになりました。3月から5月まではESL（英語を母国語としない留学生のコース）を履修しましたが、予想していた以上に難しく、毎日課題と勉強に追われていました。授業ではエッセーをほぼ毎日のように書いたり討論をしたりして、自分の意見をエッセーで書けるようになり、また討論ではクラスメイトの意見に感想や意見も言えるようになりました。自分の英語力がついたように感じ、とても嬉しく、自分に自信がつかしました。

夏休みは友だちとビーチや買い物に行き交流が深まりました。夏休み中もESLのコースを履修しましたし、また学部入学する前の3週間の講義も受講するなど、休暇中も勉強に励みました。大学が始まると、毎日あつという間に一日が過ぎました。大量の宿題、本読み、エッセーなどがあつたので、時間を有意義に使うことがどれだけ大切かも学びました。勉強で忙しいながらも友だちと一緒に映画を観たり、ごはんを食べ、学生生活を満喫できました。またお互い困っている時、助け合い、新しい友情関係ができたことは、とても嬉しかったです。フレスノ大学へ留学し、勉強以外のこともたくさん学べ、留学できたことがとてもよかったです。この経験を生かし日本へ帰っても英語をさらに習得し、新しい世界を繰り広げ、将来の職業へ生かしていきたいです。

OUTSIDE CAMPUS

森田洋司 大学学長

『学校教育・しつけ・育成環境の変化 多様な要因複雑に絡む』について
日経新聞「教育」に記事が掲載（10/2）
『増やそう「見守りの目」ひたたくり下げ止まり』について
読売新聞「大阪を安心のまちに」でインタビュー記事掲載（10/16）
『いじめ問題』について
NHK「ニュースウォッチ9」に出演しコメント（10/27）
『格差社会と犯罪を考えるシンポジウム』での基調報告の様子を
NHK「首都圏ニュース」で放映（10/21）
『教師による“いじめ”』について
読売新聞「くらし学び 考」にてコメント掲載（11/4）
『いじめ 見えぬ被害者』で朝日新聞「子供を守る いじめから」にてコメント掲載（11/12）
『自殺「連鎖」軽くみる風潮 いじめ見極め難しさ』で読売新聞にてコメント掲載（11/13）
『いじめ自殺 どうなくす』について
読売新聞「論陣論客」にてインタビュー記事掲載（11/14）
『止まらぬ子ども自殺 有効策なし焦り濃く』で毎日新聞＜東京版＞にてコメント掲載（11/14）
『後絶たぬいじめ自殺・トラブル ～識者はこう見る～』で日本経済新聞「学校で今何が」にてコメント掲載（11/15）
『犯罪の傾向と家庭の防犯』という講演内容が

読売新聞「家庭を犯罪から守る」に掲載（11/24）

村澤博人 教授（学芸学部被服学科）

『唇に秘められた女の歴史』について雑誌「VOCE」9月号でコラム掲載
『まつげの端になんて見て思う―通勤電車で女性の化粧―』について雑誌「アエラ」9月25日号にてコラム掲載

塚口眞佐子 助教授（学芸学部インテリアデザイン学科）

『モダンデザインに見る「日本の夏」』について
朝日新聞「アサヒハウジングニュース」でコラム掲載（7/14）
『陰影を楽しむ明かり術』について
朝日新聞「アサヒハウジングニュース」でコラム掲載（11/24）

藤村和久 教授（人間科学部児童学科）

『親の性格は子供にどう影響するの?』について
別冊「PHP」9月号でコラム掲載

山崎晃男 助教授（人間科学部児童学科）

『音楽と子供の心の成長』について
産経新聞「こども生活改革」でインタビュー記事が掲載（8/29）

夏目誠 教授（人間科学部心理学科）

『うつ 情報編 一更年期障害と見分けにくさも』について
朝日新聞「患者を生きる」でコメントと「気づき」の目安が掲載（8/6）

石川義之 教授（人間科学部人間社会学科）

『虐待調査の成果活かしたい』読売新聞「研究室 探訪」でインタビュー記事が掲載（9/16）

書籍

湯浅慎一 教授(人間科学部教養教育)著
『ドイツ観念論の実践哲学』
(全192頁・2006.10.10 晃洋書房)

フランス革命が勃発した時、カント、フィヒテ、シェリング、ヘーゲルはこの暴力的な革命には自由の哲学が欠如していることを見抜き、ここに自由の哲学を展開しました。これは彼らの「フランス革命の哲学」です。



書籍

藤田賞子 教授(食物栄養学科)ほか10名共著
『基礎から学ぶ調理実習』
(全188頁・2006.5.10 理工学社)

食べる人の健康状態や嗜好に合わせた食事を提供できる基礎知識や、技術・応用力を身につける基礎を学ぶことに重点をおき、また高齢者への配慮としてのポイントを付記しています。



インターンシップ

平成18年度のインターンシップ状況について

大学就職課 統括課長 森川和彦

今年度は、小阪・関屋両キャンパスの学生81名(3回生76名、2回生5名)が、夏休み期間を利用してインターンシップに参加し、去る10月25日・26日には各キャンパスにて報告会が開催されました。インターンシップとはご存知のとおり、「社会における就業体験」です。約2週間という短期間ですが、行政機関や一般企業等において職員、社員の方と時間を共有させていただき社会の実態に触れることで、参加した学生は皆、貴重な体験を得てきました。今回、報告文を掲載しました二人の学生も自分たちの視野の狭さに気づき、「お客様(市民であり、新聞の読者)のために仕事をするのだ」という大切な考えに出会えたように思います。今後とも、受け入れ機関・企業各位の多大なるご協力を仰ぎながら、教職員一丸となって本学のインターンシップ制度を推進し学生の成長を見守っていききたいと考えております。

平成18年度インターンシップ実績

学 部	参加学生 ()内前年度	実習先企業・団体							
学芸学部	41名(29名)	22	<table><tr><td>行政機関</td><td>4</td></tr><tr><td>一般企業</td><td>17</td></tr><tr><td>その他</td><td>1</td></tr></table>	行政機関	4	一般企業	17	その他	1
行政機関	4								
一般企業	17								
その他	1								
人間科学部	40名(39名)	33	<table><tr><td>行政機関</td><td>5</td></tr><tr><td>一般企業</td><td>24</td></tr><tr><td>その他</td><td>4</td></tr></table>	行政機関	5	一般企業	24	その他	4
行政機関	5								
一般企業	24								
その他	4								



学芸学部 インターンシップ体験

日本文化史学科3回生 ●●●●●
実習先 羽曳野市教育委員会

私は夏休みの10日間、羽曳野市教育委員会が主催する市民向け公開講座「はびきの市民大学」の各種講座開催に関わる事務作業や市民の方への接遇などを体験させていただきました。

体験を通して学んだことは2つあります。1つは「気持ちを伝えることの重要性」です。私は、普段口にする「ありがとう」のその先の意味を考えたことはありませんでした。しかし、職員の方が仲間同士で「ありがとう」と声をかけあう場面を見て、私はこういう何気ないやりとりこそが仕事の基盤であり、信頼関係を築く上で必要不可欠であるということに気づきました。もう1つは「仕事への理解」です。今まで事務職とは、パソコンと向き合って仕事をするものだと思ひ込み、お客様と直接的に関わるサービス職とは区別して考えていました。しかし体験を通して、両者には共通するものがあると気づきました。それは「どうすればお客様(市民の方々)に満足していただけるか?」という考えです。どんな仕事でも、向き合う先はパソコンなどの物ではなく、お客様であると感じました。

就業体験は、同時に自分自身を振り返るきっかけとなり、また、今後の課題を見つける手がかりとなりました。これからもこの体験を生かして、自分を高めていきたいと思います。



人間科学部 インターンシップ体験

心理学科3回生 ●●●●●
実習先 朝日新聞社

私は3回生の夏休みに、朝日新聞社編集局の生活文化部で、インターンシップを体験しました。この部署は、暮らしや医療・環境などの生活面や文化・芸能面を取り上げ紙面を作っています。

そこで私は取材同行や新聞作りなど普段できない経験をしました。私が同行したのは、子育て女性の再就職"マザーズハローワーク"と、夕刊に掲載中の関西で活躍されているマダム紹介「夕刊マダム」の取材です。私にとって取材は未知の世界で、堅苦しい雰囲気イメージと思っていました。実際は和やかな雰囲気なのでとても驚きました。取材を担当された社員の方が「仕事はしんどいもの。だけど、やっぱり楽しいと思える仕事がいいよ。」と何気ない一言が、自分に本当に合う職種を考えるきっかけになり、人の人生観を聞くことで自分の視野の狭さを痛感しました。また、新聞作りでは、限られた字数の中でいかに見出しや記事を読み手にわかりやすく伝えられるかが最も大切なことなので、文章を書くことが不得意な私には大変な作業でした。しかし、実際に校閲してもらい厳しいチェックの後、何度もやり直した上「インターンシップ新聞」が出来上がった時はとても嬉しく、達成感でいっぱいでした。



INFORMATION

ご案内



昨年度の卒業書作展の風景

国文学科 書道ゼミ生による『卒業書作展』のお知らせ

国文学科の書道ゼミでは、卒業論文発表の場として「卒業書作展」を次のとおり開催いたします。ぜひご覧ください。

【卒業書作展】

開催日：2月24日(土)～2月28日(水)

時 間：10:00～17:00

場 所：小阪キャンパス大学 記念館1F(182教室)

今年の書道ゼミでは、第4期生が卒業します。ご声援のほどよろしくお願い致します。



昨年度の卒業制作展会場風景(インテリア系ゼミおよび神戸ファッション美術館との協働事業に関する展示)

被服学科(アパレルコース、インテリアコース)卒業制作展・卒業論文発表会のお知らせ

被服学科では次のとおり、卒業制作展・卒業論文発表会を行います。ぜひご覧下さい。

【卒業制作展】

開催日：1月24日(水)～1月31日(水)

時 間：9:00～17:00

場 所：小阪キャンパス・記念館

【卒業論文発表会】

開催日：インテリアコース 1月29日(月)

アパレルコース 1月31日(水)

時 間：9:00～17:00(予定)

場 所：小阪キャンパス・円形ホール

なお、本年度はインテリアデザイン学科学生がまだ4回生として在籍しません。被服学科・インテリアコース学生作品として、展示・発表を行います。

ホストファミリー募集

大阪樟蔭女子大学は、2007年5月10日～6月5日(予定)まで、アメリカ、カリフォルニア州のフレズノ・パシフィック大学の学生(男子学生も数名参加予定)を受け入れる予定をしております。つきましては、期間中にアメリカ人学生を預かって頂けるホストファミリーを募集いたしますので、ぜひ協力くださいますようお願い申し上げます。この機会に、協定校であるフレズノ大学の学生との交流を深めて頂ければ幸いです。詳細は、大学の国際交流室までお問い合わせください。TEL:06-6723-8181(内線606)

大学関屋キャンパス 陶芸部 陶芸部展

日 時：2月16日(金)～2月21日(水) 11:00～19:00(最終日は16:00まで)

場 所：上本町ギャラリー(近鉄上本町駅下車 徒歩1分)

入場料：無料

お問い合わせ：大学 関屋キャンパス学生課 TEL 0745-71-3154



大学関屋キャンパス 軽音楽部 冬の定期演奏会

日 時：2月12日(祝) 14:00開場 14:30開演(時間変更の可能性あり)

場 所：心斎橋アメリカ村 サンホール(地下鉄心斎橋駅下車 徒歩6分)

入場料：1ドリンク制(500円)(予約不要)

お問い合わせ：大学 関屋キャンパス学生課 TEL 0745-71-3154



大学小阪キャンパス 箏曲部 第38回定期演奏会

日 時：2月12日(祝) 13:00開場 13:30開演

場 所：小阪キャンパス(会館)

入場料：無料(予約不要)

お問い合わせ：大学 小阪キャンパス学生課 TEL 06-6723-8279



昨年、私たちは休部中だった箏曲部の活動を再開させました。私たちにとっては初めての定期演奏会ですので、お聴き苦しい点も多いかと思いますが、よろしければご来場くださいますようお願い申し上げます。

各校のスケジュール 1月～3月

※行事予定は、諸事情により変更になる場合がございます。

大 学		
小阪(大学院・学芸)		
1	6 土	授業再開
20	土	センター試験(会場) (～21日)
2	3 土	秋期授業終了
5	月	補講開始(～2月10日)
11	日	海外語学研修(～3月24日) [ニュージーランド・オークランド大学]
27	火	秋期成績返却(～28日)
3	14 水	卒業式
関屋(大学院・人間・短大)		
1	6 土	授業再開
20	土	センター試験(会場) (～21日)
2	3 土	秋期授業終了
5	月	補講開始(～2月10日)
11	日	海外語学研修(～3月24日) [ニュージーランド・オークランド大学]
27	火	秋期成績返却(～28日)
3	15 木	卒業式

高 校		
1	9 火	始業式
10	水	百人一首大会(～12日)
17	水	1年情操教育部講演会
18	木	自治会役員選挙

1	18 木	スキー学舎説明会(3年)
20	土	生徒臨時休校(大学センター試験の為)
23	火	テーブルマナー(2年) 1年人権行事
29	月	スキー学舎説明会(1・2年)
2	9 金	生徒臨時休校(～13日)
19	月	海外研修参加者第1回説明会
23	金	卒業式予行 自治会お別れ会
26	月	スキー学舎健康相談(予備日28日)
3	3 土	第59回卒業式
5	月	期末試験(～9日)
20	火	終業式
21	水	専願者新入生登校日(9:00～)
22	木	第86回スキー学舎(～26日)
26	月	併願者新入生登校日(13:00～)

中 学		
1	9 火	始業式
20	土	生徒自宅学習(大学センター試験の為) (～23日)
31	水	自治会選挙
2	20 火	3年校内大会
21	水	自治会総会
3	1 木	転入生募集開始(～23日) 3年期末テスト(～3日)

3	6 火	1・2年期末テスト(～9日)
10	土	演劇コンクール
18	日	卒業式
20	火	終業式

幼 稚 園		
1	9 火	始業式
15	月	消防鑑見学(年長)
17	水	新入児教育懇談会
18	木	誕生会
2	1 木	豆まき
8	木	お楽しみ会①
9	金	お楽しみ会②
15	木	ひな壇飾り・誕生会
16	金	新入児体験入園
23	金	伊丹昆虫館遠足
3	2 金	ひなまつり会 祖父母のための孫育て講座
8	木	誕生会
9	金	クラス懇談(年中)
13	火	お別れ会 バイキング
14	水	クラス懇談(風・空)
16	金	卒園式
20	火	終業式

各校の行事報告

●樟徳館臨時公開
10月21日(土)～22日(日)にかけて、樟蔭学園樟徳館(登録有形文化財)の臨時公開が行われました。公開の実施は新聞等でも紹介され、両日で約1,200名の方が見学されました。見学に訪れた方の多くは、その贅沢な造りに驚かれているようでした。



●若葉祭
10月21日(土)～22日(日)に関屋キャンパスの大学祭である「若葉祭」が開催されました。今年は第20回目という節目を迎え「感謝～Thankful20～」をテーマに、関屋キャンパスの卒業生にも参加を呼びかけ、多くの人々に楽しんでもいただけるイベントとなりました。



●くすのき祭
11月11日(土)～12日(日)に小阪キャンパスにおいて「くすのき祭」が実施されました。雨がぱらつくあいにくの天候でしたが、「ルーブ～笑顔の輪～」をテーマに様々な催しが行われ、「くすのき祭」に訪れた人々の「笑顔の輪」が広がった二日間でした。



●東西狂言会
10月16日(月)、東大阪市立市民会館において大阪樟蔭女子大学国文学科主催の東西狂言会が開催されました。日本を代表する関東と関西の狂言師による恒例の狂言会で、今回で18回目を迎えました。人間国宝を始めとした著名な狂言師たちによる狂言を鑑賞できる貴重な機会でもあり、今年も約1,500名の方々が観覧に訪れました。



撮影：秦晴夫

●若葉祭
9月16日(土)・17日(日)・19日(火)に高校の若葉祭が開催されました。1日目と2日目の文化祭では、クラスやクラブでの舞台発表や展示発表などが行われました。また3日目の体育祭では伝統の「青春の躍動」が行われ、各クラスがそれぞれ工夫を凝らしたダンスを発表しました。若葉祭を通して、生徒たちは結束力や友情をより一層深めたようでした。



●体験講義
11月に、高校と大学の連携の一環として大学での体験講義が行われました。「大阪樟蔭女子大学をもっとよく知ろう」をテーマに学科別の体験講義が実施され、樟蔭高校生は各自が興味のある学科の授業を体験することができました。同じ敷地内にありながら、意外と知らない大阪樟蔭女子大学について学ぶことができた1日でした。



●台湾の曙光女子高級中学との交流会を実施
11月17日(金)に台湾の曙光女子高級中学の生徒35名が樟蔭高校を訪れました。台湾の高級中学は日本の高等学校に該当し、修学旅行中の国際交流プログラムの一環として樟蔭を訪れ、樟蔭高校生との交流会が実施されました。曙光女子高級中学との交流プログラムは昨年度に引き続き2回目の開催です。当日は、中国語を履修している樟蔭高校の生徒との交流会に始まり、合同での中国語の授業、昼食会、書道や美術の作品制作などを通して、お互いの交流を深め合いました。特に交流会では、曙光女子高級中学の生徒から台湾のコマ回しを教わったり、樟蔭高校生が歓迎のダンスを披露したりした他、グループに分かれてお手製の名刺を交換するなどして、両校の生徒はすぐに打ち解け、



あちらこちらでは、両校の生徒がお互いに記念写真を撮り合う光景がみられました。

●全校レクリエーション
9月20日(水)に中学校の運動会である全校レクリエーションが行われました。秋晴れの良いお天気に恵まれた中を、生徒たちはパン食いジュース飲み競争やムカデ競争などの競技に汗を流し、各チームの得点に一喜一憂していました。



●文化祭
10月8日(日)に中学校の文化祭が開催されました。会館でのクラスごとの発表や教室を使つての展示、クラブ演技など、生徒たちはそれまでの努力の成果を披露しました。保護者の皆様にもたくさん来ていただき、大変賑わった文化祭でした。



●運動会
10月7日(土)はあいにくの雨のため、運動場の整備・調整をしておの1時間遅れでの開会でした。しかし、高校吹奏楽部によるファンファーレを合図に始まってからは、お天気がくすれることもなく、園児・保護者ともに楽しい運動会になりました。



●みかん狩り
11月17日(金)、富田林のやまびこ園へ全園児でみかん狩りに行ってきました。大変良いお天気にめぐまれ、道中の2階建てバスにも園児たちは喜びはしゃぎ、みかん山を所狭しと駆け回っていました。



みなさまとの
コミュニケーションスペース

90周年特別企画
「樟蔭時代の思い出」
を募集します

学園では、平成19年度に創立90周年を迎えるにあたり、卒業生の皆様から「樟蔭時代の思い出」に関する作文を募集したいと思います。樟蔭に通っていた頃の思い出やエピソードなどを800～1200字程度で紹介してください。また、思い出やエピソードにまつわる写真などがございましたら、原稿と一緒に送付いただければ幸いです。（写真等は後日ご返却いたします。）

ご応募いただいた方には記念品として「樟蔭学園特製しおり」を差し上げるほか、優秀作品は「くすのき」に掲載させていただき、賞品として「図書カード（1万円分）」を差し上げます。

※文章の巧拙は問いませんので、心に残る思い出を自由にお書きください。

〈応募先〉〒577-8550 東大阪市菱屋西4-2-26
学校法人樟蔭学園 法人本部企画広報室
応募締切：平成19年3月10日
（当日消印有効）

卒業生に
に関する情報
提供のお願い

学園では、様々な分野で活躍されている卒業生を探しています。お仕事での活躍だけでなく、趣味やボランティアでの活躍でも大歓迎ですので、ぜひとも法人本部企画広報室まで情報をお寄せください。自薦他薦は問いません。

〔例〕 ●会社やお店を経営している。●企業の役員や管理職として活躍している。●海外で仕事をしている。●ボランティア活動で表彰された。等々
※皆さんから寄せられた情報は、学園報や学校案内パンフレットなどを作成する際の参考とさせていただくことを目的としており、それ以外の目的には一切利用しないことをお約束いたします。

〈連絡先〉法人本部企画広報室 TEL 06-6723-8152
FAX 06-6723-8263
E-mail: gakuen.koho@osaka-shoin.ac.jp

学園への資料寄贈のお願い

樟蔭学園では、学園に関する歴史資料の収集を行っております。学園に関わる古い資料をお持ちの方で、ご寄贈いただける物がございましたら、下記までご連絡くださいますようお願い申し上げます。特に、学園創立期から昭和40年代までの、学校行事などの写真や動画フィルム、古い校舎の写真、学内で発行した新聞・雑誌・同人誌、昔の袴や制服、学園関連の記念品、教科書などを探しています。また、前記以外でも学園の歴史を感じる珍しい物をお持ちでしたら、情報だけでもお寄せいただけますようお願い申し上げます。

〈連絡先〉
〒577-8550 東大阪市菱屋西4-2-26
学校法人 樟蔭学園 法人本部企画広報室
TEL 06-6723-8152
FAX 06-6723-8263

着物等の寄贈へのお礼とお願い

くすのき151号にて、和装資料の寄贈をお願いする記事を掲載しましたが、おかげさまで卒業生や在学生のご家族などの複数の方々より寄贈の申し出があり、貴重な着物をご寄贈いただくことができました。ご寄贈いただきました皆様には厚くお礼を申し上げます。ご寄贈いただいた着物の一部は、神戸ファッション美術館が昨年10月から今年1月まで開催している「更紗とプリントドレス展」に貸し出し、展示させていただきました。

大学では、今後も資料の収集を続けていきたいと考えておりますので、ご寄贈いただける着物等がございましたら、着払いにてお送りくださいますようお願い申し上げます。その際、いつ頃の着物か、また産地などがわかりましたら、ご記入の上、お送りいただければ幸いです。

特に、大正から昭和20年頃にかけての衣裳を収集し、学園創立90周年に合わせて当時の衣裳を展示したいと考えておりますので、ご協力をお願い申し上げます。

〈寄贈送付先〉〒577-8550 東大阪市菱屋西4-2-26
大阪樟蔭女子大学
被服学科（担当：北尾和信）宛
TEL 06-6723-8181（内線344）

寄付金応募者のご芳名（追加）

保護者の皆様方には厚く御礼申し上げます。

（お名前は保護者名、敬称略・順不同）

※11月20日時点で掲載しております。以降につきましては、次回号以降に掲載予定です。

【大学】
●●●●

寄付金のお願い

皆様には日頃より学園運営に何かとお力添えを賜わり、誠に有難うございます。

本学園では、これまでさまざまな取り組みを通して、魅力ある学校づくりに励み、よりよい教育環境を実現する為に日々努力を重ねて参りました。しかしながら、昨今の少子化による就学年齢者層の減少や国や自治体からの補助の減少など、幾つかの要因により私立学校の経営環境は年々厳しくなっているのが現状でございます。本学でも経費節減や経営の効率化などに努力を重ねておりますが、良質な教育環境を今後も維持していく為には、広く、保護者・卒業生・企業や一般の皆様方へもご寄付のご協力をお願いして参らなければならぬのが現状でございます。何卒、ご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、5,000円以上の寄付金（入学時の寄付金を除く）につきましては、特定公益増進法人に対する寄付金控除の対象となり、所得税の減免措置がございます。

寄付金についてのお申込み・お問い合わせは…

法人本部経理課（電話06-6723-8398）までお願い致します。

ハイレベルな人材ネットワークで
ビジネスをサポートします。

トータルビルメンテナンス
セキュリティ
キャリアスタッフ
メディカルサービス
ペインティング

株式会社 日経サービス

本社／大阪市中央区南船場1丁目17番10号 南船場NSビル TEL.06-6268-6788（代表） FAX.06-6268-0388
http://www.nikkei-service.co.jp

旅、スマイル

旅する人の笑顔にあいたくて…JTB。



JTB西日本 教育旅行大阪支店
〒541-0053 大阪市中央区本町2丁目1番6号
堺筋本町センタービル8階
Tel.06-6271-8375 fax.06-6262-9248



生徒の皆様の心に
『感動』という名の花を咲かせます



大阪教育旅行支店
TEL:06-6533-0710 FAX:06-6533-0719
http://www.knt.co.jp/

